

## これまでの経過

### 1. 平成25年度の検討会等の経過

検討会等	主な検討項目
第1回検討会 (平成25年12月2日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討の手順</li> <li>・ 登山道管理水準及び整備技術指針の概要説明</li> <li>・ 活用状況及び課題の抽出</li> <li>・ 登山道等の調査結果（速報版）の報告</li> <li>・ 管理水準及び技術指針見直しの視点について意見交換</li> </ul>
第2回検討会 (平成26年1月27日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雪山のあるべき姿</li> <li>・ 「管理水準」及び「登山者の心得」の普及の現状と課題</li> <li>・ 管理水準作業部会の設置、検討内容と検討の流れ</li> <li>・ 管理水準見直しの基本的な考え方と方向性 (前提5項目の確認、論点の抽出、見直しの考え方)</li> <li>・ 登山道等の調査結果概要の報告</li> </ul>
管理水準・作業部会① (平成26年2月27日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理水準のランク分けの基本的な考え方</li> <li>・ 大雪山登山道のビジョンについて意見交換</li> </ul>
管理水準・作業部会② (平成26年2月27日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線ごとに「保護・利用体験ランク」見直し</li> <li>・ 路線ごとに「保全対策ランク」を見直し（検討途中）</li> </ul>

## 2. 管理水準見直しの検討概要

### 第2回検討会（平成25年1月27日）

- ・管理水準見直しの基本的な考え方及び方向性について議論



### ■作業部会（第1回） … 平成26年2月27日

#### ①利用者への発信を考えた保護・利用体験ランク見直しの考え方について

- ランク分けの考え方の見直し（A,B,Cの3段階で良いか）

→スキー場等の国際基準のランクの決め方、ガイドレシオ等を参考に、適切なランクの分け方について議論

- 現行管理水準で違和感がある区間を抽出

#### ②大雪山登山道のビジョンはどうあるべきか

→大雪山登山道の魅力、大事にされてきたもの等について、昔のガイドブック等を参考に意見交換

#### ③登山道管理水準たたき台の作成



### ■作業部会（第2回） … 平成26年3月7日

#### ③路線ごとに「保護・利用体験ランク」の見直し

→路線ごとのランク見直しの素案を作成

《視点》

- ・利用の質が変わるところを意識して区分を分ける
- ・踏みとどまってほしいところ（気象条件が厳しい、エスケープルート、管理状況等）の要素を盛り込む
- ・利用者側から見て妥当性が高まる方向で整理する
- ・登山道の質（植生保全、雰囲気、体験）に関わる要素も盛り込む
- ・エコツアーでの利用の要素を盛り込む（利用してほしいところも含む）
- ・現在利用されていないルートについては、ランク分けを行わない

#### ④路線ごとに「保全対策ランク」の見直し

→路線ごとのランク見直しの素案について検討中

《視点》

- ・荒廃が進行した区間のランクを上げる
- ・整備済みで安定した区間のランクを下げる